

JSP

Corporate Report 2026

株式会社JSP 統合報告書

企業理念／経営方針

JSPは、1962年の創立以来、発泡樹脂製品の専業メーカーとして、世界中の幅広い分野で活躍しています。
発泡樹脂製品の可能性を最大限に生かした製品をさまざまな分野で開発し、世に送り出すことで産業の発展や世界中の人々の豊かな暮らしに貢献しています。



企業理念

創造的行動力による社会への貢献

当社グループは、発泡樹脂メーカーとして、オリジナル技術をベースにした独創性をもった製品を開発し社会へ貢献します。発泡樹脂とは、合成樹脂を気泡生成し安定化したもので、発泡することで軽量性・緩衝性・断熱性など多くの特性が付加されます。より軽い、より強い、より優しい製品づくりで省資源に貢献しています。

経営方針

Deliver with WOW!

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、顧客と消費者に感動を、株主と地域社会に満足をお届けし、社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで社会から必要とされる企業を目指してまいります。

Contents、編集方針／ツール紹介

イントロダクション

01 企業理念／経営方針
02 Contents、編集方針／ツール紹介

価値創造の源泉

03 JSPの歩み
04 At a Glance -JSPの強み-
05 価値創造プロセス

ビジョン

06 社長メッセージ

価値創造の戦略

10 中期経営計画のポイント、振り返り

●全体戦略
12 財務戦略
14 財務・非財務ハイライト
15 マテリアリティ
16 リスクと機会への対応
18 人材戦略

●特集
20 成長戦略を動かす人材
–4つの成長エンジンの最前線–

●セグメント別戦略
21 押出事業 本部長メッセージ
23 ビーズ事業 本部長メッセージ

●特集
25 知的財産戦略

サステナビリティ

26 サステナビリティ経営
27 レスポンシブル・ケア RC活動

●環境への取り組み
29 環境マネジメント体制
30 環境保全
31 TCFD提言に基づく情報開示について

●社会への取り組み
34 ステークホルダーとのコミュニケーション
35 品質保証／調達
36 社会貢献活動

ガバナンス

37 コーポレート・ガバナンスの取り組み
41 役員一覧
43 社外取締役メッセージ

データ編

45 株式情報／会社情報
46 グローバルネットワーク／国内ネットワーク

発刊にあたって

JSPグループは、企業理念「創造的行動力による社会への貢献」に基づき、長期ビジョンの実現に向かって事業を展開しています。現在推進中の中期経営計画2024-2026「Change for Growth 2026」の基本コンセプトにおいても、サステナビリティ経営を明確に定義しています。
本レポートでは、重要課題とサステナビリティ経営に即した情報を掲載しています。また、当社ウェブサイトも併せてご覧ください。

▶ https://www.co-jsp.co.jp/sustainability/

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日
（一部、2026年4月以降の活動を記載）

将来の見通しに関する記述

本レポートには、経営計画、戦略、業績に関する将来予測の記述が含まれています。これらの記述は、2026年3月31日時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものです。そのため、リスクや不確実性を含んでいる情報も掲載しています。実際の業績は、将来予測に関する記述とは異なる可能性があります。

JSP
株式会社JSP
〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目4番2号 新日石ビル
https://www.co-jsp.co.jp

ウェブサイトでの財務・非財務情報開示

IR情報

- 個人投資家の皆さまへ
- 経営方針
- 業績・財務情報
- IRイベント
- IR資料室
- 株式・社債情報
- よくあるご質問

▶ https://www.co-jsp.co.jp/ir/



サステナビリティ情報

- 社長メッセージ
- サステナビリティ経営
- 環境
- 社会
- コーポレート・ガバナンス
- レスポンシブル・ケア
- ステークホルダーエンゲージメント

▶ https://www.co-jsp.co.jp/sustainability/



JSPの歩み

JSPは、1962年の日本スチレンペーパー(株)としての設立以来、世界に先駆けた独自製品の開発力や技術力でグローバルに事業展開しています。また、発泡樹脂製品の持つ特性を通じ、環境負荷の低減やCO_2排出の削減にも貢献しています。

世界には多様な価値観があり、その場所や時代によって変化し続けています。私たちJSPグループは、その変化するお客さまや社会の求めに応え、価値観を共有すべくチャレンジし続けてまいります。

創業期(1962~1984)



ポリスチレンペーパーの生産を開始し、発泡事業の専業メーカーとして創業しました。その後、押出発泡ポリエチレン(ミラマット®)とビーズ発泡ポリプロピレン(ピープロック®※)を世界で初めて開発しました。また、ミラボード®、ミラフォーム®も市場に投入し、現在の主な製品のラインアップが揃いました。

※ピープロック®は「ARPRO®(アープロ)」に名称が変わりました。

- 1962 日本スチレンペーパー(株)設立
  大阪営業所開設
  平塚工場操業開始
- 1970 名古屋営業所開設
- 1971 鹿沼第一工場操業開始
  福岡営業所開設
- 1972 札幌・仙台・広島に営業所開設
- 1973 新宮スチレンペーパー(株)設立
- 1977 九州スチレンペーパー(株)設立
- 1979 北海道スチレンペーパー(株)設立
- 1980 鹿沼第二工場操業開始

成長期(1985~2003)



ビーズ発泡(ピープロック®※)で初めて海外進出(アメリカ)を果たし、それを足掛かりに欧州、アジア各国に進出しました。また、東京証券取引所第二部に上場を果たし、事業の規模を徐々に拡大し成長期を迎えました。また2003年には三菱化学フォームプラスティック(株)と事業統合し発泡性ポリスチレン(EPS)事業を新たに加え、発泡樹脂製品の専業としての技術的、経営的な基盤を確固たるものとしました。

- 1988 ピープロック®※で
  科学技術庁長官賞受賞
- 1989 商号を株式会社JSPに変更
- 1990 東京証券取引所市場
  第二部へ上場
  鹿沼研究所竣工
- 1991 四日市工場操業開始
- 1999 鹿沼第四工場操業開始
- 2001 社内カンパニー制導入

拡大期(2004~)



東京証券取引所第一部に指定替えし、売上高が1,000億円を超えました。ピープロック®※が自動車部材として大幅に採用が拡大し、世界各地で設備増強を行いました。またブラジルにも進出し世界中で幅広く製品を供給できるネットワークを強化しました。日本の生産設備もリニューアルを積極的に推進し競争力を高めました。また、地球環境保護の世界的な潮流に対応し、再資源センターの設立や環境対応グレードの開発などの投資も行っています。

売上高と営業利益の推移

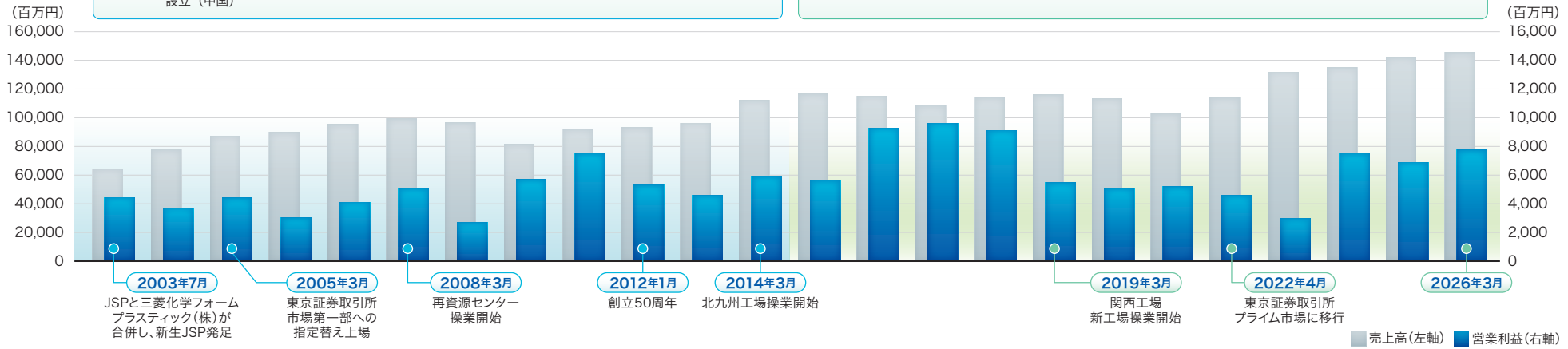
海外事業の躍進

- 2002年：杰斯比塑料（無錫）有限公司【現：杰斯比高新材料（無錫）有限公司】設立（中国）
- 2004年：JSP International s.r.o. 設立（チェコ）
  杰斯比国際貿易（上海）有限公司【現：杰斯比塑料（上海）有限公司】設立（中国）
- 2006年：昆山杰斯比圣和科包装材料有限公司【現：杰斯比圣和材料科技（昆山）有限公司】設立（中国）杰斯比塑料（東莞）有限公司【現：杰斯比高新材料（東莞）有限公司】設立（中国）
- 2010年：JSP Brasil Industria de Plasticos LTDA. 設立（ブラジル）JSP Foam India Pvt. LTD. 設立（インド）

海外事業の拡大

好調な海外での販売や自動車部品向け販売が営業利益のさらなる拡大をけん引

- 2015年：JSP Foam Products（Thailand）Co., LTD. 設立（タイ）
- 2017年：杰斯比塑料（武漢）有限公司【現：杰斯比高新材料（武漢）有限公司】設立（中国）
- 2025年：GHEPI S.r.l.【現：JSP Injection Moulding Solutions S.r.l.】（イタリア）と HAPP GmbH【現：JSP Injection Moulding Solutions GmbH】（ドイツ）を完全子会社化



At a Glance ーJSPの強みー

私たちは「真のグローバルサプライヤーとして社会から必要とされる企業」を目指しています。

JSPの強み

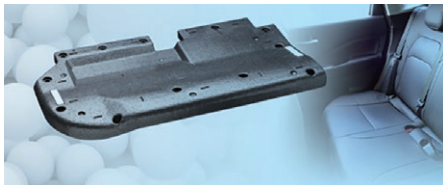
1 幅広いマーケット

当社が販売する発泡樹脂製品の用途は、食品包材、住宅、建築、土木、自動車、物流、精密機器梱包材など多岐にわたります。それぞれの分野でお客さまのニーズにお応えし生まれた技術を水平展開し、他の既存の分野はもちろん、新しいマーケットで生かすこともできます。幅広いマーケットを持つことで、発泡樹脂製品の可能性を高めていきます。



2 発泡技術に特化した開発力

発泡樹脂製品の専業メーカーとして、最先端の発泡技術により世界中の人々の豊かな日常生活に貢献できる企業を目指しています。当社が世界で初めて開発した製品も数多くあり、発泡樹脂製品のリーディングカンパニーとして業界をけん引してきました。今後も、経済価値だけでなく社会的価値の創造を目指し、発泡技術をさらに深化させることで、省資源で高機能な製品を提供していきます。



ARPRO®（無架橋ポリプロピレン型内発泡体）

3 グローバル展開する生産販売体制

当社は、1980年代の米国進出を皮切りにグローバルな事業展開を行っています。現在では、日本、アメリカ、メキシコ、ブラジル、フランス、チェコ、ドイツ、イタリア、シンガポール、インド、タイ、中国、韓国、台湾に製造拠点があります。また、ドイツにはイノベーションセンターを設置しているほか、日本、アメリカ、アジアにも開発拠点を有しています。現地のお客さまのニーズを把握し、さらに各拠点間で連携し情報共有することで、開発のスピードアップや、市場ニーズの先取りを図っています。



JSP International s.r.o.（チェコ）

4 技術サポートという付加価値

当社が販売する発泡樹脂製品の多くは、販売先による成形プロセスや加工処理を経て製品となります。当社は発泡樹脂製品であるシートやビーズを販売するだけでなく、成形メーカーさまへの技術サポート、製品によっては構造解析等の技術協力、積極提案などを行っています。JSPは、技術サポートを通じて、お客さまの生産性向上、省エネルギー化などさらなる付加価値を提供しています。



JSPが提供する分野別価値

押出事業

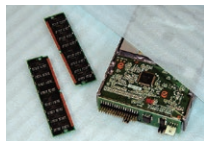
● 生活資材

「スチレンペーパー」を中心とする食品包材分野の製品は、食品の鮮度を保ち、衝撃から保護します。食品トレーやカップ麺容器、弁当容器、納豆容器、折箱、菓子容器など、さまざまな食品容器に使用されています。さらに、耐熱性・耐油性・緩衝性などの機能を備えた製品を提供することにより、電子レンジ調理食品などにも対応し、多様化する食のニーズに応えています。



● 産業資材

「ミラマット®」をはじめとする発泡ポリエチレンシートは緩衝性や防湿、防水性に優れ、長期の輸送および保管期間を必要とする品物に最適で、物流における包装資材として活躍しています。持続性帯電防止機能などの付加価値を持った「ミラマットエース®」は、精密機器やフラットパネルディスプレイの表面保護材としても用いられており、より高度な性能を発揮しています。



● 建築土木資材

「ミラフォーム®」は、その高い省エネルギー効果が評価され、戸建て住宅やマンション、オフィスビルなどさまざまな建物に断熱材として使用されており、快適な住まい環境づくりのお手伝いをしています。また、「スチロダイアブロック®」は優れた耐圧縮性、一般的な盛土材の1/100程度の軽量性、施工性などを生かし、道路の軟弱地盤補強や橋梁の軽量化のために使用され、構造物を陰で支えています。このほか、排水性、吸音性、防音性に優れた特殊な発泡樹脂製品は、屋上緑化用排水板、運動公園などの透水性下地材、地下鉄防音壁など、街中のさまざまな場所で利用されています。



ビーズ事業

● 高機能材

「ARPRO®」は、当社が世界で初めて開発した無架橋ポリプロピレン型内発泡体で、軽量性をはじめ、緩衝性、耐熱性、断熱性、寸法安定性、耐油・耐薬品性、耐久性などさまざまな優れた物性を併せ持つ製品です。自動車資材として日系だけではなく国内外ほぼ全ての自動車メーカーに採用され、近年のHVやEV需要にも応えており、世界的に信頼を得ています。ほかにも、包装資材や物流資材、グラウンド基礎緩衝材、エアコンなどHVAC※（暖房・換気・空調）設備向けのユニット部分の断熱材としての使用など、さまざまな用途が広がっています。

※HVAC：Heating（暖房）、Ventilation（換気）、Air Conditioning（空調）の略。温度と換気を制御する空調システム。



● EPS

発泡性ポリスチレン「スチロダイア®」の成形品は軽量かつ緩衝性・断熱性に優れ、加工が容易にできます。この優れた特性を生かし各種用途に適したグレードを提供しており、魚・野菜箱等の食品の保温・保冷容器に欠かせない素材として用いられています。



価値創造プロセス

インプット

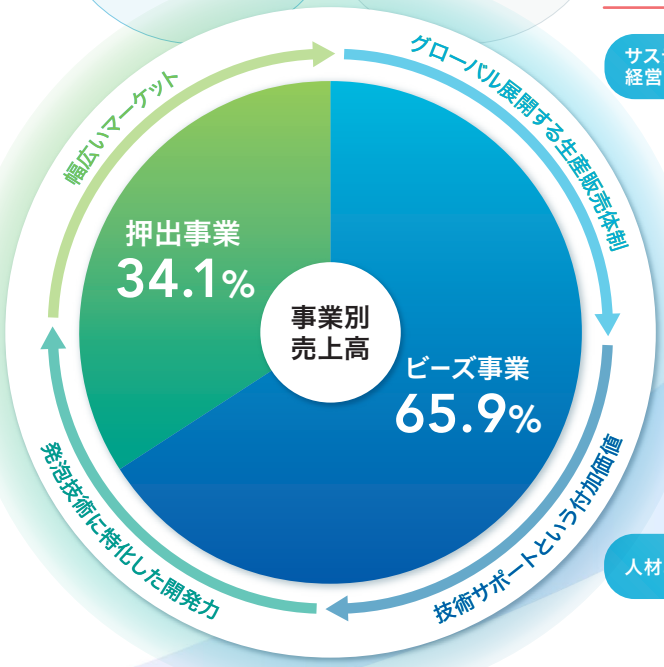
- 人的資本
- 社会・関係資本
- 財務資本
- 知的資本
- 製造資本

経営資本

ビジネスモデル

企業理念
創造的
行動力による
社会への貢献
▶P.01

経営方針
Deliver with WOW!



コーポレート・ガバナンス ▶P.37

マテリアリティ ▶P.15
- 共通価値の創造(CSV)
- 環境・社会・企業統治(ESG)

戦略

- サステナビリティ経営 ▶P.26
- 財務戦略 ▶P.12
- 中期経営計画 ▶P.10
- セグメント別戦略 ▶P.21
- 人材戦略 ▶P.18

アウトプット

成 果

連結業績
- 売上高 1,454億円
- 営業利益 77億円
- 当期純利益 66億円

▶P.14

株主還元
- 年間配当 90円

▶P.14

労働安全性
- 安全衛生活動
- 保安防災活動

▶P.28(RC活動)

環境への取り組み
- 環境保全 ▶P.30
- TCFD提言に基づく情報開示について ▶P.31

ありたい姿

「VISION 2027」
真のグローバルサプライヤーとして
社会から必要とされる企業

アウトカム

- 生活環境の向上
- 食の安全
- 技術革新
- 環境負荷低減
- 生産性向上

SDGsの目標達成への貢献



マテリアリティに関連する重点目標



▶P.15